

始めませんか。公民館でのサークル活動



新年度が始まっています。昨年度末からのコロナ禍により、各地区公民館は 5 月現在、当分の間、休館状態となっています。講座・サークル活動も実施できていない状況です。再開後は下記の講座・サークルが開催される予定になっていますので、是非、ご参加くださいますようご案内申し上げます。実施可能になりましたら、代表者の方にご連絡いたします。

油絵教室 : 毎週 月曜	囲碁教室 : 毎月第 1・3 土曜
編み物教室 : 毎月第 2・4 水曜	カラオケ真和会 : 毎月第 2・4 水曜
津房句会 : 毎月 最終土曜	チューブ体操 : 毎週 金曜
高齢者学級 : 毎週 木曜	乙女教室 : 毎月 第 3 金曜
背骨コンディショニング体操 : 毎月第 2・4 火曜日 19:30~21:00	
サロン・年中夢求 : 毎月第 4 木曜日 13:00~	



相原さん(五郎丸)の手づくり作品コーナー



★ 教室・サークルとも月によって臨時変更もあります

新聞紙で折った兜をかぶって・・・

編集・発行 津房地区公民館 ☎ 4 8 - 2 0 0 1

訂正とお詫び

先月号の公民館だよりの「区長紹介」の中で、東椎屋の区長さんのお名前が間違っていました。正しくは「佐藤和美」氏です。大変失礼いたしました。

文学全集 20 冊追加ご寄贈

後藤幸子氏(板場)より、再び本を寄贈していただきました。

- 源氏物語 (与謝野晶子 訳) ①・②
- 世界文学全集 18 冊 (大地、風と共に去りぬ、武器よさらば、嵐が丘、赤と黒、ロミオとジュリエット 他)

「読書の秋」に「読書の夏」を追加しませんか



時が止まったかのように・・・

いつの間にか、春から夏へと季節は移り変わり、若葉の緑も清々しい今日この頃、尾立地区の広大な畑をおおい尽くすシヤガイモのかわいい白い花が心地よいそよ風にゆれていきます。田んぼに水が張られ、着々と田植えの準備が進められています。トラクターの音やカエルの鳴き声が目覚まし時計の代わりになっています。

町並みは何も変わっていないのに、何故か時が止まったかのように・・・。「コロナ禍のせさ」でしようか？

3月2日までは公民館利用者の方々の楽しそうな話し声や元気のいい笑い声が館内に響いていました。しかし・・・

3月2日、市より「新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当分の間、休館にする」という通知を受けた翌日、

- 3月3日 県内初の感染者確認
- 4月に入り、不要不急の外出など自粛要請
- 4月16日 緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大
- 5月6日まで「自粛が5月31日まで」に延期
- 5月14日 県への緊急事態宣言が解除

「解除」と言っても新型コロナウイルス感染が終息したわけではなく、引き続き、「新しい生活様式」を続けなければならぬことは確かです。

この公民館だよりが届く頃には「**休館解除**」の報告が出来るようになります。



俳句

大隈草生 選



津房句会

※三月例会は「コロナ」で公民館休館につき、ハガキで投句

兼題（水温む・彼岸・芹）



合掌し父母偲ぶ彼岸冷え・聖枝

（評）「暑も寒も彼岸まで」と言ふが今年は暖冬のせいかわ彼岸過ぎの寒が身にこたえる。仏壇にお花を供え、亡き父母の在りし日を偲ぶお彼岸会。父母の歳を越えて生きつゝいる幸を感謝してこゝろ。

平凡な日々大切に彼岸かな・寂蓮
ていねいに仏具磨くや彼岸入り・茂
鮮やかな芹のみどりや酒つまし・一圭
水底に蠢くものや水温む・草生

公民館だよりのQRコードです



今月の頭の体操

日本の地図記号



皆さんはいくつ答えられますか？



おおくぼさんのやさしいお話

リフレーミングを身につけよう

「リフレーミング」という言葉をご存知でしょうか？

人は、それぞれ価値観を持っていますが、もの見方や考え方の癖、「枠組み（フレーム）」は相手への先入観や偏見に繋がってしまう場合があります。「色眼鏡で見る」という言葉もあります。「リフレーミング」とは「色眼鏡」「枠組み」を外して、プラスの捉え方や異なる視点で見ることで、より相手を理解しようとする手法のことで、人権研修に取り入れられることもあります。

例えば、人を評価する「お節介」「頑固」「荒っぽい」「臆病」などは、マイナスイメージの言葉ですが、言い換えれば（違う視点で見れば）、それぞれ「世話好き」「意志が強い」「元気がよい」「慎重」とも言えます。「物は言いよう」と思われる方もおられるかもしれませんが、相手を異なる視点からプラスのイメージで見ることは、相手をより深く理解することにつながります。

いつも、何となく苦手ととっつきにくいと思っていた人も、見方を変えれば、あなたの良き理解者であり、味方になってくれる人かもしれません。

大分県人権啓発コラム「心ひらいて」より
安心院中央公民館
社会教育指導員 大久保 和則

心に響く3LINE LOVE LETTER

そろそろ断捨離ごときでも始めようかなーと思い立ち、先ずは本の片付けから・・・と、作業開始間もなく、「積ん読」の中から帯がついたままの

「3行ラブレター 読む！ 深い話Ⅱ」という本が出てきました。「恋人編」「夫婦編」「片思い編」「昔の恋編」などのカテゴリー（範疇、部門）に分けて掲載されています。

本書をパラパラとめくっていたら「夫婦編」で目に留まった作品を紹介します。

「あれとってくれ」
昔はなんのことかわからなかったけど
今は 正解率90パーセント
(富山県 52歳 女性)



おふくろの味は25年
でも お前の味は
もう50年
(高知県 75歳 男性)



作品展示コーナーができました。
押入れに眠っている手づくり作品を展示してみませんか？
お預かりは短期、長期間いけません。
お気軽にご連絡ください。

